

2018年10月17日

株式会社エクスビジョンの株式譲渡について

株式会社 INCJ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、同社が保有する株式会社エクスビジョン（本社：東京都文京区、代表取締役社長：藤井照穂、以下「エクスビジョン」）の全株式について、Nikon-SBI Innovation Fund（所在地：東京都港区、代表取締役執行役員社長：川島克哉）に譲渡することを決定しましたのでお知らせいたします。

株式会社エクスビジョンについて

- ・ 設 立 : 2009年1月
- ・ 代表者 : 代表取締役社長 藤井 照穂
- ・ 本 社 : 東京都文京区
- ・ 事業内容 : 高速画像処理技術とその応用システムの開発・販売
- ・ URL : <http://exvision.co.jp/>

Nikon-SBI Innovation Fund について

- ・ 設 立 : 2016年7月
- ・ 業務執行組合員 : SBI インベストメント株式会社
- ・ 代表者 : 代表取締役執行役員社長 川島 克哉
- ・ 所在地 : 東京都港区
- ・ 投資対象 : IT、AI、ロボットなどの最新技術やサービスの新規分野における有望なベンチャー企業

株式会 INCJ について

株式会社 INCJ は、2018年9月、既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足しました。産業革新機構は、2009年7月、産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的に設立されましたが、根拠法である産業競争力強化法の改正法の施行に伴い、同機構は株式会社産業革新投資機構に商号変更し、新たな活動を開始しました。株式会社 INCJ は、産業革新機構の事業を引き継ぐ形で、既投資先の Value up 活動や追加投資、マイルストーン投資、EXIT を主要業務として、2025年3月末まで活動していきます。

URL : <http://www.incj.co.jp/>

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社 産業革新投資機構 企画調整 Gr. 広報 入江、坂井
東京都千代田区丸の内 1-4-1 丸の内永楽ビルディング 21 階
電 話 : 03-5218-7202

【別紙】

1. 対象事業社

- ・ 事業者名：株式会社エクスビジョン
- ・ 設立：2009年
- ・ 所在地：東京都文京区
- ・ 代表者：藤井 照穂
- ・ 事業内容：高速画像処理技術とその応用システムの開発・販売

2. 支援決定内容

- ・ 支援決定金額：1.8億円（上限）
- ・ 実投資額：1.4億円（2013年7月 0.8億円、2014年8月 0.6億円）
- ・ 共同投資家：株式会社経営共創基盤 他
- ・ 株式保有割合：非公表
- ・ これまでの支援決定内容：
 - 支援決定公表日：2013年7月8日
 - プレスリリース：<https://www.incj.co.jp/news/assets/1418023912.01.pdf>
 - 投資ストラクチャー：<https://www.incj.co.jp/performance/upload/docs/1418100697.02.pdf>

3. 経緯

（1）出資の経緯

エクスビジョンは、東京大学石川研究室において開発された高速画像処理技術の商用化を目的に2009年1月に設立されたベンチャー企業です。コアとなる技術は、動く対象物を高い精度で認識・捕捉するためのアルゴリズムです。同技術ではカメラセンサーにより高速連写した一連の画像を用いることで、各画像間での対象物の移動距離を短く、また対象物の探索スペースを小さくすることで、認識・捕捉アルゴリズムが効率化され、高速での画像所処理を可能としています。INCJは、同社の成長資金として、2013年7月に総額1.8億円を上限とする投資決定を公表しました。

（2）事業の進捗

エクスビジョンでは、当該高速画像処理技術を使い、デジタルサイネージやPCゲームへの応用を想定したジェスチャー・ユーザー・インターフェース事業、産業用ロボットや工作機械への応用を目指した高速ビジョンプラットフォーム事業を中心に事業基盤の確立に向けた取り組みを行っています。しかしながら、現時点では、未だ、量産化を含む商用化への具体的な段階には至っていません。

（3）Exitの経緯・内容

エクスビジョンの高速画像処理技術自体は高く評価をされており、今後の事業展開について共同株主を含めた関係者間において議論をしていたところ、Nikon-SBI Innovation Fundにおいてエクスビジョ

ンの持つ技術力、ノウハウ、研究開発力等が有用であるとの判断がなされ、株式を譲り受けたい旨の申し入れがありました。INCJ としても、エキスビジョンの持つ高い技術が引き続き本邦事業会社で活かされるのは意義のあることと判断し、今回の申し入れを受け、保有する全株式を譲渡することになりました。

4. 主務大臣（経済産業大臣）の意見 (2018年8月29日付け)

ベンチャー企業等への初期開発段階からの積極的な支援は、今後も我が国の産業競争力の強化において重要である。本案件の課題を分析して、その反省に立って引き続きベンチャー企業等の支援を行うとともに、支援案件全体としての収益性の確保に努められたい。

以上